

まちづくり勉強会ニュース

No.1

2026(令和8)年
9月発行

発行／北区 防災まちづくり担当部 防災まちづくり担当課

上中里三丁目・栄町地区まちづくり勉強会ニュースは、地区のまちづくりについて広くお知らせするため、お住まいのみなさまに全戸配布しています。

上中里三丁目・栄町地区 まちづくり勉強会を開催します

上中里三丁目・栄町地区は、老朽化した木造・防火造の住宅が密集して立ち並ぶ住宅地となっています。幅員の狭い道路が多く、消防車の通行や消防活動が困難なエリアもあり、防災上の観点から多くの課題を抱えている地域です。

地震をはじめとした災害時の被害を少しでも小さくするために、課題を早期に解決していく必要があります。

このような状況を踏まえ、当地区は令和7年3月、東京都防災都市づくり推進計画における「防災環境向上地区」に指定されました。

北区では、地区の現況調査を行うとともに、今後、地元のみなさまとの勉強会を通じて、地区の課題やまちづくりの進め方について話し合いをすすめていく予定です。



防災都市づくり推進計画 基本方針(東京都)
令和7年3月改定(令和8年3月一部修正)

勉強会で検討する地区



【第1回】

上中里三丁目・栄町地区

まちづくり勉強会

日付 令和8年9月30日(水)

時間 午後6時30分～(1時間半程度)

場所 栄町会館 2階(北区栄町32-3)

どなたでも
参加可能
です!



課題
01

災害時の危険度が高い地区です

東京都が令和4年に実施した「地震に関する地域危険度測定調査(第9回)」において、災害時の危険度※1が高い地区であることが示されています。

	上中里三丁目	栄町
建物倒壊危険度	ランク5	ランク3
火災危険度	ランク5	ランク4
総合危険度	ランク5	ランク4



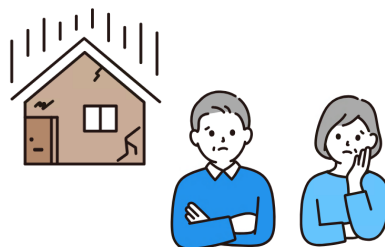
※1:町丁目ごとの危険性の度合いを5つのランクに分けて、相対的に評価したもの

課題
02

古い木造等の建物が多い地区です

地区の建物の約4割は、昭和56年以前※2または建築年不明の建物です。その約9割が木造等(木造モルタル造を含む)で、防災上のリスクが高い地区です。

	上中里三丁目	栄町
建物棟数合計	約300棟	約600棟
昭和56年以前※2および建築年不明の建物	約39%	約43%
うち木造等の割合	約87%	約91%



※2:旧耐震基準(現行より低い耐震基準)で設計された建物

課題
03

消防活動が困難なエリアがあります

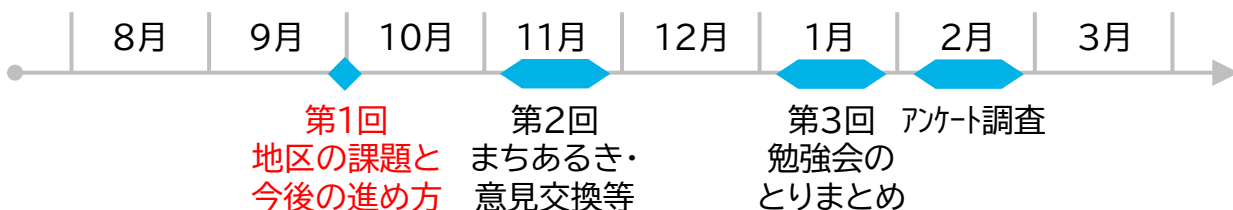
災害時に防災活動道路として機能する道路の幅員は6m以上とされています。地区内には幅員6m未満の狭い道路が多く、消防活動が困難な「消防活動困難区域」が存在しています。



勉強会の進め方について

- 地区の特性に関する情報を提供し、関連するまちづくりの勉強をします。できるだけ事例を交えて、わかりやすく紹介します。
- 毎回の勉強会テーマは、参加者のご要望も踏まえて準備します。
- スケジュールは以下の内容を想定しています。

令和8年度



※勉強会でのご意見等を踏まえ、活動内容やスケジュールを変更する可能性もございます。

北区公式ウェブサイト

問い合わせ先

事務局:北区 防災まちづくり担当部
防災まちづくり担当課
北区王子本町1-15-22
電話:03-3908-9162(直通)

